

はたらく喜びと社会参加

# 銀 齡 だ よ り

第 5 0 号

町田市高齢者事業団発行  
東京都町田市森野1-1-15  
TEL 0427(23)2147~8

昭和63年 新 年 号

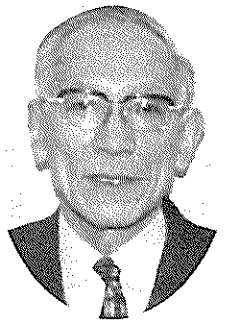
会 員 数 (11月末現在) 1,105名

男 789名 女 316名

あけましておめでとうございます

—今年は私たちの出番!—





会長 林 清美

新年明けましておめでとうござ  
います。

市民の皆様、会員の皆様そして  
この事業を、陰に陽にご支援くだ  
さる関係の方々には晴れやかな新  
春を迎えられたこととお慶び申し  
あげます。

私達は長い職業生活を終えこの  
事業団に参加しました。  
高齢者の自立、共助の精神のもと  
に移りゆく社会にとり残されない  
よう常に連帯を強めることによっ  
て社会参加を推進するよう努めて  
おります。

幸い一昨年この事業が社会情勢  
に合致することになりまし。そ  
れだけに、この事業に市民各位が  
期待をかけられておられること  
をしみじみ感じております。事業団  
事業を地域社会に深く、広く理解  
して頂くには、高齢者のみならず、  
各年齢層の方に高齢化問題が日常  
生活のなかに常にあることを認識  
して頂きたいのであります。

一般の産業社会では業績主義で  
行動し、たとえ結果の不平等があ  
ってもこれを自己の責任と受け入  
れています。これに反し、私達は  
結果の不平等があっても、事業の  
範囲で調整し、福祉社会の理念に  
あうよう一貫した原則のもとに行

動しております。業績と連帯主義  
の共存の複合的考え方で対処して  
おります。図式的にはこのように  
考えても、日々の運営には不公平  
や、不正が生じております。こ  
うした結末に対処する能力や感性  
はこの事業創立当時から論議され  
ていましたが、まだ克服されてお  
りません。またこの事業が労働施  
策の一部として地域社会とともに  
その利害と接触して、どう共存す  
るか、どうして世代の異なる人々の  
共感を得るか、であります。

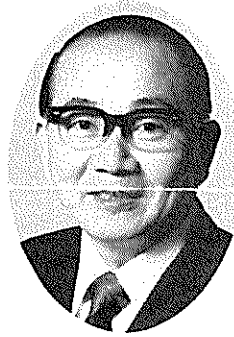
広い視野からみれば、この事業  
の理念は国民生活の内容を高める  
ための社会的役割がありあります。  
そこに国がこの事業を援助してい  
る意義がありますし一面、高齢者  
の就業については就業確保を図る  
のが当然とする発想のみでなく広  
く今後の高齢化社会における経済  
社会、国民生活の姿との関連で論  
ぜられ、単に就業の場の確保でな  
く、それ以外の広い手段が検討さ  
れていなければならないと考えま  
す。これを個人生活のレベルでみ  
ると、定年後の生活期間が長く年  
金等の収入では不安が感ぜられる  
とこの不安解消には就業の確保と  
か扶助制度が考えられます。これ  
は政策の究極の目的が個人生活の  
安定と向上にある観点から大切な  
課題です。しかし個人には高齢者  
にふさわしい意識革命による生活  
設計、自立努力を行う必要があり  
ます。また、経済社会からすれば、  
活力ある経済を維持するには安定  
した雇用関係は近代国家の責務で  
あり、社会不安は生活不安の原点  
であり、働く意欲のある高齢者の  
能力活用は経済活性化の源泉とな  
るでしょう。こうした観点からの

利点は多数あげられていますが、  
相互に相反することもあり、整合  
的網羅的に結論づけることは困難  
であります。

私達、事業団役員は、現時点で  
種々の課題に直面して、一定の方  
向を見出し、少くとも、今日的に  
意思決定をする努力を続けており  
ます。

町田市高齢者事業団はおかげさ  
まで九年目を迎えました。一層の  
ご理解とご指導を、切にお願い申  
し上げます。

(全国シルバー人材センター協会  
理事兼任)



名誉会長 町田市長 大下 勝正

新年あけましておめでとうござ  
います。

町田市高齢者事業団の会員のみな  
さまならびに関係各位におかれ  
ましては、お健やかに新年をお迎  
えのことと心からお慶び申しあげ  
ます。

さて、事業団も発足から間もな  
くまる八年、現在では一一〇〇余  
名の会員を擁する規模に発展、会  
員のみならずの確実で丹念な仕事  
ぶりが市民のみならず大きな  
評価をうけております。

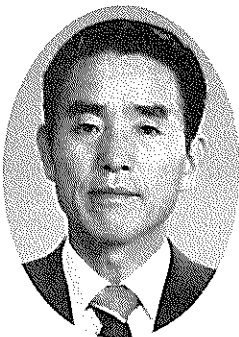
そして、会員のみなさまの就労  
比率も当初は四〇五〇にすぎませ  
んでしたが、最近では五〇〇台に  
までなっており喜ばしい限りであ

ります。事業団の運営にあたら  
れているみなさまにおかれましては、  
今後、さらに職種の多様化等をは  
かられ、一〇〇〇就労にむけひき  
つづきご尽力いただきたく存じ  
ます。

さて、今や人生八〇年にもそれ  
以上にもなるうとしており、人生  
設計も大きく様変わりいたしました  
た。現在、市内には六〇歳以上の  
方が三五〇〇〇余名いらっしゃい  
ますが、これは市人口の一割強に  
あたりあります。これから本格的な高  
齢化社会にむかうにあたり、市で  
はみなさまが健康で安心な生活の  
できるよう、市の福祉・医療制度  
の改善と充実に力を注ぎ、二十一  
世紀を展望した施策をすすめてお  
ります。しかし、何といたってもお  
ひとりおひとりが生きがいをもつて  
いきいきと生活していただくこと  
が最も大切です。この生きがい  
趣味やお孫さんの世話等に求めら  
れる方も多くと存じます。そして、  
また一方では、昨今の厳しい社会  
情勢の中で、健康で豊かな老後と  
短期間であっても生きがいのため  
の就労を希望する方は今後増加  
の一途をたどるものと思われま  
す。事業団の役割もますます大きくな  
ってまいります。市といたしまし  
ても、その活動の拡大発展にさら  
なる援助をつづけてまいります所存  
です。

末筆ながら、平素より献身的に  
事業団の運営にあたられているみ  
なさまに深く感謝申しあげ、会員  
のみならずのますますの健勝と  
ご活躍をお祈りいたしまして年頭  
のご挨拶といたします。

新年を祝して



町田市議会議員 洪谷 軍治

希望に輝く昭和六十三年の年頭  
にあたり、謹んで新年のご挨拶を  
申し上げます。

皆様には、ご健勝のうちに新春  
をお迎えのこととお慶び申し上げ  
あわせて、日頃の市議会によせら  
れた深いご理解とご支援に対しま  
して、厚くお礼申し上げます。

光陰矢の如しとか申しますが、  
貴シルバー人材センター町田市高  
齢者事業団が設立され、早くも満  
八年を迎えられることになり、皆  
様の永年培かって来られた豊富な  
知識と技術そして貴重な経験を生  
かされた社会参加は、市の内外か  
ら高く評価され誠に慶賀の極みで  
あります。思えば、貧困の中で戦  
後の復興と日本経済発展の基盤を、  
社会の中心のお立場で礎かれた、  
皆様の英知とご努力に対し深甚な  
る敬意を表するものであります。  
人生八十年の時代を迎えた今日、  
皆様には先づ健康には充分ご留意  
戴き、お元気に活躍されますこと  
と、貴事業団の益々のご発展を  
ご祈念申し上げます。



# 七福神

理事 永島栄良

七福神は大黒天、夷、毘沙門天、弁才天、福祿寿、寿老人、布袋の七つの福神の集団です。これは初めから定った福神の集団ではなく種々雑多な福神がそれぞれの由来を持ちながら流布され、ある時代に寄せ集められて成立したのであります。然も其のほとんどが日本固有の神様ではない。

今では我が国の典型的な福神として神話の大国主命と考えられている大黒天様も元来はサンスクリットのマハーカールを「摩訶迦羅」と音訳し大黒天と漢訳した暗夜を司る神様であるバラモン教では、戦闘の神様であったのが、仏教では仏法僧の三宝を守護し飲食を豊饒にする厨房の神様に変った。それが伝教大師などの留学僧によって我が国に伝来し、神仏習合と大黒と大国の音通から大国主命と考えられ米俵に乗って、袋を背負い小槌を持つ福徳円満な地主の神となり、農業の守護神となったものである。また、夷すなわちえびすは元来異民族のことを意味するから、蕃神のことであつたらしいがえびすの語が異民族に限らず島や浦辺に住む海辺人を称するようになるとともに、神話の蛭子や事代主神と結合し、随神のさぶるふ侍神とも混合され、狩衣に指貫を着け立烏帽子を被って右手に釣竿を持ち、左手に鯛を抱えた神像に固定され、漁業の守護神から市場の守護神となります。また毘沙門天は福徳の名四方に聞える意味のサ

ンスクリットのヴァイシュラマナの音訳であつて、多聞天と漢訳されているか、須弥山の北面に住み北方の守護神であり、戦勝の神様である。

それが仏法を守護し、財宝福徳を授け子宝を授ける神様として身に甲冑を着け、左手の掌に舍利塔を捧げ、右手に宝棒を持つようになった。また弁才天は湖に富むものを意味するサンスクリットのサラスヴァティの漢訳で、妙音天とも訳され、インダス川ともいわれているが、河川を神格化したもので人の汚れを払い、学問と技芸の守護神又は雄弁と知恵の守護神とされている。

福祿寿と寿老人にいたっては、何れも中国の仙人であるが、これに別人とする説と同一人の別名とする説とがある。その神像からすれば福祿寿は長頭短身で奇相をしていて、鶴を伴っている。寿老人は端正な普通の仙老の姿で鹿を伴っている。別神とするものは福祿寿は寿星の化身であり、寿老人は南極老人の化身としている。両星は何れも人命を司る星である。布袋は実在した中国の後梁の禅僧で、名は契此明州奉化県の人である。常に杖を持って布の袋をにない、人に物を受けたものを囊中に貯えているので、布袋師と呼ばれ、半裸で腹が大きくふくれている。以上述べたように七福神は印度の神様と中国の仙人と僧侶と日本の神様仏教と道教と神道が雑然と一体となったものであります。

## 事業団

### 百人一首

#### いろは歌留多

除草班長 開発 晴夫

思いつくままに創作してみました。貴方も創作して見ませんか。

百人一首(例)

(詠み人の名にご注意の事)

- 老いばれに 良く効く薬  
問われるれば 外で働き  
友をつくれと
- 酒飲みのくせは さまざま  
あるなれど せめて一時  
天下とらさむ  
(酒呑童子)
- 空缶を捨てる人あり 拾う人  
多勢に無勢とてもかなわむ  
(缶らカラカラ)
- 女子だと 差別しやんすな  
男の子ども
- 岩戸を開ける力ありけり  
(割目噴火)
- 経験と知識で計る 物指も  
目盛りに乗らぬ事の多けり  
(一城主人)
- 実年の呼び名もいつか  
もう古い ご先祖様と  
若者は呼ぶ  
(新人類)
- 雪のあと草木の根本 解けている  
生きてる事の素晴らしきかな  
(命保存協会)
- 働いたこと 自慢するのは  
おろかなり  
評価はすべて 他人のすること  
(この詠名を考えて下さい)

例	内容	日付	実施内容
①	いろは歌留多(例) 生甲斐は 自分の努力で つかむもの	11月27日	経営部会 昭和63年度予算の 骨格について 独自事業について 理事会
②	働いて帰った夜の うまい酒	11月27日	昭和62年度上半期 決算報告 次期総会の日程に ついて
③	オイコラ と言えぬがなやみ 自転車置場		配分金支払証明の 発給要領について 全戸配布業務の体 制について
④	我家とは 一味違う 家事援助		昭和63年度事業計 画・同予算案の骨 格について
⑤	楽隠居 先ははかない ボケの道	11月30日	業務・会計監査 鶴川地域全戸配 布打合せ
⑥	昔から 鍛えた腕は おとろえぬ	12月1日	南地域全戸配布 打合せ
⑦	山を越え 谷越えてこそ 桃源境	12月4日	銀齡だより発行 町田地域全戸配 布打合せ
⑧	就労の 知らせ受けて 若返り	12月7日	忠生地域全戸配 布打合せ
⑨	昼休み 自分でみとれる 植木職	12月10日	堺地域・南地域 全戸配布打合せ
⑩	成功は 努力と汗の 積みかさね	12月15日	配分金支払 事務局長会議 第七ブロック局 長会議
⑪	共働 共助は われらの心	12月16日	新入会員説明会 厚生部会
⑫	雪のあと草木の根本 解けている 生きてる事の素晴らしきかな (命保存協会)	12月17日	安全対策その他 「安全の日」
⑬	働いたこと 自慢するのは おろかなり 評価はすべて 他人のすること (この詠名を考えて下さい)	12月18日	安全巡回実施 総務部会
⑭	働いたこと 自慢するのは おろかなり 評価はすべて 他人のすること (この詠名を考えて下さい)	12月21日	総会会場について その他
⑮	働いたこと 自慢するのは おろかなり 評価はすべて 他人のすること (この詠名を考えて下さい)	12月22日	総会会場について その他
⑯	働いたこと 自慢するのは おろかなり 評価はすべて 他人のすること (この詠名を考えて下さい)	12月24日	総会会場について 昭和63年度事業計 画案 その他
⑰	働いたこと 自慢するのは おろかなり 評価はすべて 他人のすること (この詠名を考えて下さい)	11月26日	地域懇談会 本町田・南大谷地 域(12名出席)
⑱	働いたこと 自慢するのは おろかなり 評価はすべて 他人のすること (この詠名を考えて下さい)	11月26日	襖張り講習会 (成瀬台自治会) (47名参加)

### 事業団の動き

11月26日 地域懇談会  
本町田・南大谷地  
域(12名出席)

11月26日 襖張り講習会  
(成瀬台自治会)  
(47名参加)



# 確実に丹念な仕事で好評です。

## シルバー人材センター



仕事を頼みたいときは  
地域のシルバー人材センターへ  
電話でご相談下さい。

TEL 23-2147

会社  
商店  
家庭  
公共機関



お役に立ちます  
地域で  
企業で  
家庭で

### 事務局だより

#### ◎ 町田市内

#### 全戸配布業務決定

前号でお知らせしました、町田市内の全世帯に対する市の刊行物（町田ガイド・わたしの便利帳）配布業務を受託しました。すでに各地域毎に、基本計画を検討していますが、出来るだけ多くの会員が、この業務に参加をしていただきますようお願いいたします。具体的なことは、班長さんから連絡をいたしますので、その際は万障繰り合せていただき、例へ10戸でも20戸でも結構ですから、ご協力をお願いいたします。特に、未就業の会員の方は、この機会に、業務参加をお願いいたします。なお、一部当りの配分金については、決定次第お知らせいたします。

#### ◎ 配分金支払い日

12月分の配分金の支払い日は、1月20日午後1時からですので、お間違いないようお願いいたします。

なお、作業日報は1月5日までに提出してください。

◎ 住所・電話番号等が変更になった場合は、必ず、事務局にご連絡下さい。



#### 行事予定

1月4日	御用始め
1月8日	賀詞交歓会 (財団主催)
1月18日	理事・班長合同会議
1月19日	事務局長会議
1月20日	「安全の日」安全巡回実施
1月21日	配分金支払
2月1日	新入会員説明会 全戸配布

#### 計報

安藤福衛さん(相原地域会員)が、心筋梗塞のため、去る11月25日死去されました。謹んでお知らせいたします。

#### 編集後記



会員の皆さま、あけましておめでとございます。昨年中はいろいろとご支援をいただき、ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。今年も辰歳、表紙に辰歳会員の方々に登場していただきましたが、いろいろと都合があったので、ようやく全員の方が参加されなかったのが心残りでした。